

## 事業所における自己評価結果

公表日： 2021年2月26日

事業所名             
                  **こころ園**

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が多いときはフリータイムの時に狭く感じる。机を端に寄せるなど工夫が必要と思う。</li> <li>・部屋の広さに対して、人数が多い時がある。</li> <li>・ひよこ組は、人数に対して、部屋のスペースが狭く、支援しにくい時がある。</li> </ul>	怪我や事故が起きないように常に意識しつつ、必要のないものは片付けるなど整理整頓をしていきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	15	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1対1でない時がある。</li> </ul>	長期休暇や職員の急なお休みが多い時には1対1の配置が難しいこともありますが、他事業所と連携を図ること、できる限り調整を行っていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレに手すりがあったも良いと思う</li> <li>・写真や目印やマークなど欲しいところはない</li> </ul>	今後も改善が必要なことについては皆で話し合い、取り入れていくことで常に向上心を持って取り組んでいきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外遊びの幅が広がるので、園庭に鉄棒や砂場があれば尚良いと思う</li> <li>・その日のうちに使った物を消毒している</li> <li>・床材は、木のぬくもりを大切に素材になっているが、靴下だと滑りやすく、転倒しそうな時がある。</li> <li>また、床が冷たかったり、硬いので、支援する時、足にタコができたり、膝に負担がかかる。</li> <li>できれば、クッション性のあるマット等、敷いて貰えると嬉しい。</li> </ul>	今後も広い園庭を活用し、子どもたちが元気に、活発に活動できるよう工夫していきます。衛生面、機能面を考えたしながら、子どもたちにとって過ごしやすい生活空間を整えていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	15	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤さんは、連絡等、できているのだと思うが、スタッフレベルでは、よくわからない。</li> </ul>	引き続きPDCAサイクルに沿って業務を行い、常勤のみならず非常勤の職員も一緒に考えていける環境づくりに努めていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	16	3		今後もミーティングで話し合いを重ね、課題の検討や改善案の立案など、より多くの職員で行うことで今後の支援に役立てていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	16	3		年に1回、事業所向け・保護者向けの評価を行い、職員間で確認した後に改善案を検討しています。毎年、法人のホームページにて公表しておりますのでお時間があるときにぜひご覧ください。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しているのかもしれないが わからない</li> </ul>	現在は行っていませんが機会があれば取り組んでいきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の救急救命などの研修もあれば尚良いと思う</li> <li>・遊びがベースだが、子どもの特性を理解せず支援をしている。また、子どものベースではなく支援者のベースになり待つことがなく動いている。支援とは何かを考え直した講演会など事業所ごとにあると良いと思う。</li> <li>・日々の勤務で得る経験も大切ですが、障害の特徴や基礎的な対応方法などの研修で良いので機会が欲しいと思います。</li> <li>・常勤さんは、よくされているのだと思うが、スタッフレベルでの研修や講習会もあったらいいのかなと思う。</li> </ul>	今年度は虐待防止研修やマカトンサイン研修を実施しましたが、コロナの影響もあり職員向けの研修は数回しかできませんでした。今後の状況を見ながら可能な限り研修会の企画、参加できるよう調整し、職員の質の向上を目指していきます。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	18	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標が曖昧な気がする。また、目標があっても把握していない支援者が多い。</li> <li>・お子さん1人1人の発達支援計画を十分に把握する時間が少ない。支援計画に目を通して、印を押すにも時間が必要だが、残ってやっても、時給換算されない。</li> <li>朝、担当のお子さんの青ファイルを見ている時に、急に、別のクラスの担当に変えられる事があり、担当になったお子さんを、よく把握できないまま、支援に入る事がある。</li> </ul>	職員の専門性や質の向上に努めていきます。より良い支援計画を作成し、職員間でしっかり共有できるようミーティングの充実やチェック表の徹底確認など、日々の業務の見直しも行っていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	13	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の価値観が、大きく反映されている気がする事がある。</li> </ul>	日々の記録や職員間での情報共有など、子どもたちの状況を常に把握しながら支援計画を作成しています。今後も多角視点を持った支援計画を作成し、より良い支援に繋げていきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方が本当の思いを話せているのか?と思う事がある。</li> <li>・常勤さんは、やられているのかもしれないが、よくわからない。</li> </ul>	支援計画を読まれた人が分かりやすく、読み取りやすい表現を心がけ、より具体的に共感できる支援計画になるよう改善していきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	2		確認表を用意することで職員間での共有を行っています。多くの職員から意見を抽出した上で内容をまとめていきます。日々変化する支援内容についても記録や話し合いを行い、情報共有に努めていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	17	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤の思いしか通っていないところもある</li> </ul>	職員の皆様からのご意見を踏まえ、皆さんから意見が出しやすい、相談しやすい環境を作っていきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	16	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言できない環境になっている</li> </ul>	どの職員の方でも意見が出しやすい環境を作っていく、職員間で様々な案を出し合いながら活動内容を検討していきます。子どもたちが楽しく集中して参加できるプログラムをこれからも職員皆で考えていきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	18	1		帰りのプログラムに課題遊びを行っていますが、ほかの個別活動についても今後、検討していきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	17	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の統一ができていないので子どもに迷いがある。また、支援の見直しをしても話しを聞かずに自分本位になりがちな支援者がいる。</li> </ul>	時間が許す限り、朝の引継ぎや報告などの打ち合わせを行っています。職員全員が積極的に話し合いに参加でき、活動や支援計画と一緒に立案できるよう、より開かれた環境に整えていきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	18	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ずミーティングをしているが子どもの特性を理解できずに支援をしている人が多い</li> <li>・退勤時間を重視されているからか、たまに不十分だと感じる日もあります。</li> <li>・改善点を出すのは、良い事だし、大切ではあるが、指示だけでは、モチベーションが下がるので、スタッフの個性や良かった点についても、共有できると嬉しい。</li> </ul>	記録の確認や細かな支援方法の伝達など、職員間での情報共有の方法を今一度確認していきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	18	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録はとっているが、支援の検証、改善には繋がっていない。</li> </ul>	日々の記録の書き方や支援におけるポイントなど、再度職員間で確認していきます。PDCAサイクルに沿って支援が行われるよう、記録や振り返りの方法を工夫していきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	19	0		常に子どもたちの様子、成長の確認を行い、必要に応じて計画の見直しを行うことで一人一人に合った、寄り添った支援計画を作成していきます。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	19	0		今後も可能な限り会議に参加し、関係機関との連携、情報共有を図りながら日々の支援に繋げていきます。

関係機関や保護者との連携	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	16	3		今後も可能な限り会議に参加し、関係機関との連携、情報共有を図りながら日々の支援に繋げていきます。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	16	3	・しているのかもしれないが わからない	必要に応じて今後も関係機関と連携を図りながら、本人、ご家族が安心して利用できるよう努めていきます。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	12	7	・しているのかもしれないが わからない	必要に応じて今後も関係機関と連携を図りながら、本人、ご家族が安心して利用できるよう努めていきます。
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	19	0		引き続き、保育所等訪問支援を活用しながら地域の関係機関と連携を図り、子どもたちにとってより良い支援が提供できるようにしていきます。
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	15	4	・しているのかもしれないが わからない	就学前に小学校の先生やコーディネーターの方と引継ぎを行っています。卒園時に小学校へスムーズな移行ができるようこれからも取り組んでいきます。
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	13	6	・しているのかもしれないが わからない ・専門的な話しをもっと聞きたい	療育センターや他事業所と連携を図り、専門家の意見も取り入れながらより良い支援を目指していきます。
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	16	・コロナの影響で、触れ合う機会がない。 ・子供による。 園として、関わりがあるかわからない。	お散歩や公園遊びの時には積極的にご挨拶をしていくことで、地域の方々や日頃から交流ができるようにしていきます。今後さらに近隣施設や地元の方々との交流ができるよう検討していきます。
	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	11		昨年度より埼葛北地区の自立支援協議会・子ども部会に参加しています。引き続き各関係機関との情報共有を積極的に行っていきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	18	1	・保護者の思いももう少し吸い上げて形にできたら良いと思う。また、共通の話題にし拡散すべき。	現在コロナウィルスの影響で引き継ぎ時間が短縮されていますが、必要に応じてお電話にて園での様子を詳しくお伝えしたり、お困りごとがあればご相談に乗ったりしています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	11	・しているのかもしれないが わからない	療育センター主催の保護者サロンがあります。今後、機会があればこども園でも保護者向けの行事を企画、実施していきます。
保護	㉚	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	18	1		契約時にお話をさせていただいております。引き続き、保護者様に対して丁寧な説明を心がけています。
	㉛	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	19	0		一人一人に寄り添った支援計画作成を心がけています。作成した支援計画は必ず保護者様に説明し、同意をいただいております。ご意見があればその都度対応させていただきます。
	㉜	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	18	1	・一部できている ・相談を受けて、それに対するアドバイス等がメインかと思う。 傾聴を中心とした、親が気持ちを吐き出せる時間や場所、傾聴士がいたらいいと思う。	保護者の皆様が安心してご利用できるよう、ご意見やご相談に対して丁寧に対応させていただきます。お電話でも随時受け付けていますので、何かありましたら遠慮なくご相談ください。
	㉝	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	13	・コロナの関係でないのかもしれないが、もっと父母の会があっても良いと思う ・よくわからない。	コロナの影響で今年度はできていませんでしたので、状況を見て開催できるよう調整していきます。詳細が決まりましたらお知らせいたします。

普入の説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	0		保護者の皆様が安心してご利用できるようしっかりとした対応を心がけていきます。何かあればいつでもご相談ください。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	18	1		引き続き定期的に園での様子やお知らせを『園だより』として作成、発行してまいりますので楽しみにしてください。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	18	1	・個人的な内容ではないがTwitterを見た事がある	職員間で守秘義務を常に意識するように努め、個人情報保護を徹底していきます。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	18	1	・できていない支援者がいるがスキルアップを全体として考えていく必要がある	写真カードやマカトンサインなど、視覚の構造化を行っています。これからも子どもたちにとって必要なものは積極的に取り入れていきます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	12	・コロナの影響で、難しい。	あかりでは年2回、作業所の製品販売やコンサートを行っています。コロナウィルスの影響もありなかなか交流ができていません。感染が落ち着いてきたら近くの保育園などと交流の場が持てるよう、前向きに検討していきます。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	18	1	・避難訓練だけでなく、防犯もあると良いと思う。	各マニュアルは玄関、事務所に掲示しています。今後より多くの方に訓練に参加してもらえよう、日程の確認を行っています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	19	0		毎月、地震、火災を想定した消防訓練を行っています。半年に1回は消防署の方に立ち会っていただき、ご指導いただいております。今後も様々なケースを想定し、訓練が画一的にならないように注意しながら取り組んでいきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	17	2		契約時にアセスメントシートへ記入していただいています。服薬については毎回処方箋と一緒に依頼書を提出していただいております。全職員への周知を徹底していきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	18	1	・医師の診断書はないように思う。診断書はあっても良いと思う。	事前に保護者様へ確認を取り対応しています。アレルギーの疑いがある場合も念の為除去対応をしています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	17	2	・ヒヤリハットが何かを理解していない支援者がいる。また、みてもスルーしている人が多い ・青ファイルを読んでいる時は、子供を見ながらだと難しく、ヒヤリハットが起きないか、ヒヤヒヤする。	起きた原因や対策、今後の対応が明記された報告書の共有を職員全員で徹底し、再発防止に努めていきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12	7	・スタッフによっては、子供が甘える事を、甘やかしていると判断したり、ケンカの原因を聴いたりする前に、謝らせる事があり、子供達の心の内を、十分に聴いてあげることができないと、自尊心が低くなる気がする。	毎年、虐待防止研修を行っています。今後も定期的に研修会を行い、園内でも職員間で声を掛け合い、ひとつひとつの行動を確認しながら支援に臨んでいきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	15	4	・バギーの利用については、理解をもらっていると思う	支援計画にて事前に保護者様に同意を得た上で、散歩時のバギー利用時のみベルトを装着しています。